

# 緩和医療

palliative medicine

シリーズ責任者：緩和医療学 特任教授 月川 賢

## 1. 学習内容

がん・非がんを問わず、患者さんは様々な苦痛(身体的、心理・社会的、spiritual)、全人的苦痛(total pain)に悩まされています。これらの苦痛を緩和することで、QOL(quality of life)の向上を図るのが緩和ケアです。講義を通して、患者さんの抱える様々な苦痛を理解・評価し、自分なりに対策を考えられるようになっていただきたい。

緩和ケアを実施するに当たっては、多職種 of 医療従事者が、それぞれの専門性を生かしながらチームを組んで協働することが重要です。この講義には、医師、看護師をはじめ、ソーシャルワーカー、薬剤師も講義を担当します。講義を通してチーム医療、緩和ケアチーム(palliative care team)の重要性を学んでいただきたい。

## 2. 到達目標

- 1) 緩和ケアを説明できる。
- 2) 全人的苦痛を説明できる。
- 3) 疼痛の評価、緩和のための薬物療法を説明できる。
- 4) オピオイドの適応と有害事象について説明できる。

## 3. 学習上の注意点

特に事前学習の必要はない。最終日は1週間前に課題を渡すので、当日までにグループごとにディスカッションし、結果をまとめて発表すること。

## 4. 教科書・参考書

教科書：『専門家をめざす人のための緩和医療学』（南江堂）  
代表的な症状のアセスメント方法を学ぶのに優れている。

参考書：『臨床緩和ケア』 大学病院の緩和ケアを考える会編（青海社）  
（書評）コンパクトにまとまっている。

## 5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	1	70 (%)	後期試験
授業態度	15	30 (%)	

## 6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
緩和医療学 寄付講座	特任教授	月川 賢	(月)～(木) 9:00～17:00	医学部2階 (消化器・一般外科医局)	3214

メールアドレスは @marianna-u.ac.jp が省略